FR 235

STIHL



2 - 24 取扱説明書

目次

1 ごあいさつ....2
2 はじめに....2
3 概要....3
4 安全に関する重要事項....4
5 刈払機の使用準備....10
6 刈払機の組み立て....11
7 刈払機の調整....14
8 燃料の混合と刈払機への給油....14
9 エンジンの始動と停止....15
10 刈払機のテスト....16
11 刈払機の操作....17
12 作業後....18
13 運搬....18
14 保管....18
15 清掃....18
16 整備....19
17 修理....20
18 トラブルシューティング....21
19 技術仕様....22
20 カッティングアタッチメントとデフレクターの組み合わせ....23
21 スペアパーツおよびアクセサリー....24
22 廃棄....24
23 EC 適合証明書....24
24 アドレス....24

1 ごあいさつ

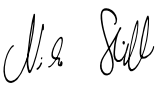
お客様各位

STIHL 製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。弊社では、お客様のご要望を満たす高品質の製品を開発し、製造しております。弊社の製品は、極端な条件下においても高い信頼性が発揮されるよう設計されております。

STIHL 社は上質なサービスでも定評があります。弊社販売店は、お客様にご満足いただける助言や商品説明だけでなく、広範なサービスサポートも提供しております。

STIHL 社は天然資源を持続可能かつ責任ある方法で利用することに尽力しており、この方針を明示しています。本取扱説明書は、製品の長きに渡る耐用年数において、お客様が STIHL 製品を安全かつ環境に優しい方法で使用するのに役立つよう考えられています。

弊社をご愛顧いただきまして有難うございます。今後とも STIHL 製品をご愛用いただきますようお願い申し上げます。



Dr. Nikolas Stihl

重要！初めて使用する前に取扱説明書をお読みください。取扱説明書は、必要なときに参照できるよう安全な場所に保管してください。

2 はじめに

2.1 適用文書

現地の安全規制が適用されます。

- ► 本取扱説明書の他に以下の文書をお読みいただき、内容を理解し、保管してください：
  - – 使用するカッティングアタッチメントの取扱説明書とパッケージ

2.2 本書内の警告表示

警告

- 重傷または死亡の原因となるおそれのある危険を示しています。
  - ► 記載されている対策を講じると、重傷または死亡事故を防ぐことができます。

注記

- 物的損害の原因となるおそれのある危険を示しています。
  - ► 記載されている対策を講じると、物損事故を防ぐことができます。

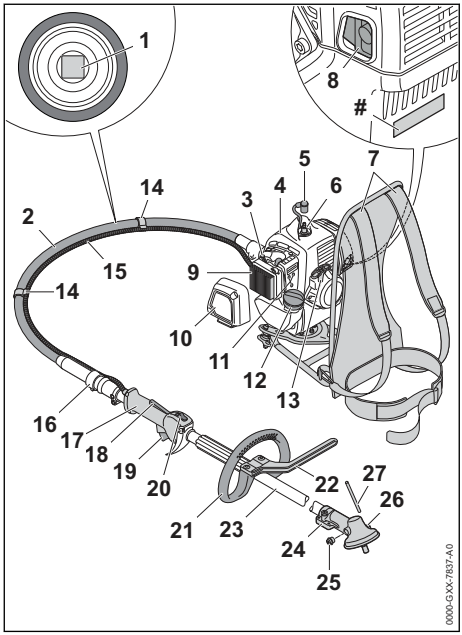
2.3 本文中の記号

この記号は、本取扱説明書の章を示します。

オリジナルの取扱説明書の翻訳
0000008458_018_J
無塩素漂白紙使用
紙はリサイクル可能です。
© ANDREAS STIHL AG & Co. KG 2025
0458-527-4321-B. VA4.E25.

3 概要

3.1 刈払機



1 フレキシブルシャフト
エンジン出力をカッティングアタッチメントに伝達します。

2 フレキシブルドライブチューブ
カップリングスリーブをパワーヘッドに接続し、フレキシブルシャフトを保護します。

3 チョークレバー
エンジンの始動を補助します。

4 手動燃料ポンプ
エンジンを始動しやすくします。

5 スパークプラグターミナル
イグニッションリードをスパークプラグに接続します。

6 スパークプラグ
エンジン内の混合気に点火します。

7 ハーネス
刈払機の重量を肩と背中で分散させます。

8 マフラー
刈払機が発する騒音を低減します。

9 エアフィルター
エンジン吸気を濾過します。

10 フィルターカバー
エアフィルター用カバー。

11 キャブレター調整スクリュー
キャブレターの調整用。

12 燃料タンクキャップ
燃料タンクの蓋。

13 スターターグリップ
エンジンのクランキング用。

14 スロットルケーブルリテイナー
スロットルケーブルを所定の位置で固定します。

15 スロットルケーブル
スロットルトリガーをエンジンに接続します。

16 カップリングスリーブ
フレキシブルドライブチューブをリジッドドライブチューブに接続します。

17 コントロールハンドル
刈払機の操作、保持、制御に使用します。

18 スロットルトリガーロックアウト
スロットルトリガーのロックを解除します。

19 スロットルトリガー
エンジン回転数を制御します。

20 スライドコントロール
エンジンの始動、運転、および停止用。

21 ループハンドル
刈払機の保持とコントロールに使用します。

22 バリアバー
作業者の脚と金属製カッティングアタッチメント間の距離を維持します。

23 シャフト
全コンポーネントの連結部品。

24 ギアハウジング
ギアボックスが収められています。

25 スクリュープラグ
STIHL ギアグリース注入口の栓。

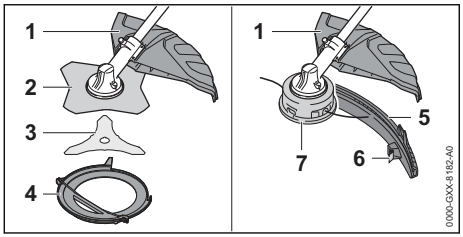
26 ストップピン用開口部
ストップピンを挿入します。

27 ストップピン
カッティングアタッチメント装着時にシャフトが回転するのを防ぎます。

 # シリアルナンバー付き定格ラベル

3.2 デフレクターとカッティングアタッチメント

図は、デフレクターとカッティングアタッチメントの例を示しています。可能な組み合わせは、本書に記載されています、🕮 20。



1 ユニバーサルデフレクター
使用者を飛散物やカッティングアタッチメントとの接触から守ります。

2 草刈ブレード
芝草や雑草を刈払いします。

3 ブラシュナイフ
下草を刈払いします。

4 運搬用ガード
金属製カッティングアタッチメントに接触しないよう使用者を保護します。

5 スカート
草刈ヘッドに使用するためにユニバーサルデフレクターを延長します。

6 ライン制限ブレード
カッティングラインを適切な長さに切断します。

7 草刈ヘッド
草刈ヘッドにはカッティングラインが収められています。

3.3 記号

刈払機とデフレクターに表示されている記号の意味：

この記号は、燃料タンクを示しています。

この記号は、手動燃料ポンプを示しています。

START エンジンは、スライドコントロールがこの位置のときに始動します。

エンジンは、スライドコントロールがこの位置のときに作動します。

STOP-0 エンジンは、スライドコントロールがこの位置のときに停止します。

スライドコントロールをこの方向に動かすと、エンジンが停止します。

エンジンは、チョークレバーがこの位置のときに始動します。

エンジンは、チョークレバーがこの位置のときに始動準備が整います。

この記号は、カッティングアタッチメントの回転方向を示しています。

max ø XXX この記号は、カッティングアタッチメントの mm 単位の最大径を示しています。

この記号は、カッティングアタッチメントの定格回転数を示しています。
x

4 安全に関する重要事項

4.1 警告標示

4.1.1 警告記号

刈払機の警告標示の意味


安全上の注意事項を遵守し、必要な予防措置を講じてください。


取扱説明書をよくお読みいただき、ご理解ください。取扱説明書は必ず保管してください。

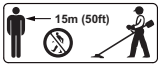

保護メガネ、イヤープロテクター、ヘルメットを着用してください。


安全靴を着用してください。


保護手袋を着用してください。


キックバックに関する安全上の注意事項を遵守し、必要な予防措置を講じてください。


飛散物に関する安全上の注意事項を遵守し、必要な予防措置を講じてください。



安全な距離を維持してください。


高温の面に触れないでください。

4.1.2 ユニバーサルデフレクターとスカート

ユニバーサルデフレクター

ユニバーサルデフレクター上の警告標示の意味：


このデフレクターはスカートなしに草刈ヘッドに使用しないでください。


このデフレクターは草刈ブレードに使用してください。


このデフレクターはブラシュナイフに使用してください。


このデフレクターはシュレッダーブレードに使用してください。


このデフレクターはサーキュラソーブレードには使用しないでください。

スカート

スカート上の警告標示の意味：


草刈ヘッドにはユニバーサルデフレクターをスカートとライン制限ブレードと共に使用してください。

4.2 用途

STIHL FR 235 背負式刈払機は、以下の目的用に設計されています：

– 草刈ヘッド使用時：芝草の刈払い
– 草刈ブレード使用時：芝草と雑草の刈払い
– ブラシュナイフ使用時：幹の径が 20 mm までのやぶの切断

⚠ 警告

- 設計された目的以外で刈払機を使用すると、重傷または致命傷や物的損害につながるおそれがあります。
  - ► 刈払機は、本取扱説明書に従って使用してください。

4.3 作業者

⚠ 警告

- 指導を受けていない使用者は、刈払機の使用に伴う危険の認識や評価ができません。使用者または他の人員が重傷または致命傷を負うおそれがあります。


  - ► 製品をお使いになる際は、取扱説明書をよくお読みいただき、ご理解ください。また本書は必ず保管してください。
  - ► 刈払機を譲渡する場合：必ず本取扱説明書を一緒に手渡してください。
  - ► 使用者が以下の必要条件を満たしているか確認してください：
    – 十分な休息をとっている。
    – 使用者は、刈払機を操作するために適切な身体的および精神的状態である必要があります。使用者の身体的、感覚的、または精神的機能が制限されている場合、その使用者は、責任者の監督の下で、または責任者による指導どおりにのみ作業することができます。
    – 使用者は刈払機の使用に伴う危険を認識し、評価することができる。
    – 法定年齢に達しているか、国の規則や規制に従い、監督下で職業訓練を受けた。
    – 使用者は、初めて刈払機を使用する前に、STIHL サービス店、またはその他の経験豊富な使用者から、指導を受けてください。
    – アルコールまたは薬物の影響を受けていない。
  - ► ご不明な点があれば：STIHL サービス店にサポートを依頼してください。
- 刈払機のイグニッションシステムは、電磁界を発生します。その電磁界がペースメーカーに干渉する場合があります。その結果、重傷または致命傷を負うおそれがあります。
  - ► 使用者がペースメーカーを着用している場合：ペースメーカーが影響を受けないことを確認してください。

4.4 衣服と装備

⚠ 警告

- 操作中、長髪は刈払機に吸い込まれることがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
  - ► 機械に吸い込まれないよう、長髪は結び、肩の上でまとめてください。
- 作業中は、物体が高速で飛散することがあります。それにより負傷するおそれがあります。


  - ► 確実にフィットする保護メガネを着用してください。欧州基準 EN 166 または日本の基準に従って試験され、ラベルが付けられている適切な保護メガネが販売されています。
  - ► フェイスシールドを着用してください。
  - ► 丈夫な素材の長ズボンを着用してください。
- 操作中は騒音が発生します。騒音は聴力障害の原因になるおそれがあります。


  - ► イヤープロテクターを着用してください。
- 落下物で頭部を負傷するおそれがあります。


  - ► 作業中に物が落下する危険が高いときは、ヘルメットを着用してください。
- 作業中は、粉塵が巻き上げられることがあります。巻き上げられた粉塵は気道を傷付け、アレルギー反応を引き起こすおそれがあります。

► 粉塵が発生するときは、防塵マスクを着用してください。

■ 不適切な衣服は樹木、茂み、または刈払機に絡まる可能性があります。適切な衣服を着用しないと、重傷を負うおそれがあります。
► 体にぴったりフィットする衣服を着用してください。
► スカーフや装身具は外してください。

■ 作業中、回転するカッティングアタッチメントに接触するおそれがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
► 頑丈な靴を着用してください。



► 金属製カッティングアタッチメントを使用している場合は、爪先に鋼板の入った安全靴を着用してください。
► 丈夫な素材の長ズボンを着用してください。

■ 清掃中や整備中に使用者がカッティングアタッチメントやライン制限ブレードに接触するおそれがあります。それにより負傷するおそれがあります。



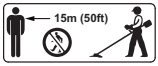
► 耐切創手袋を着用してください。

■ 不適切な履物を履くと、滑るおそれがあります。それにより負傷するおそれがあります。
► 靴底が滑らず、頑強な作りの、足が露出しない靴を着用してください。

4.5 作業エリアと周辺環境

⚠ 警告

■ 見物人、子供、動物は、刈払機または飛散物の危険を認識していません。それにより見物人、子供、動物が重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。



► 見物人、子供、動物は作業エリアから 15 m の範囲内に入らせないでください。
► 器物から 15 m の間隔を維持してください。
► 刈払機を無人のまま放置しないでください。
► 子供が刈払機で遊ばないよう注意してください。

■ エンジン作動中はマフラーから高温の排気ガスが排出されます。高温の排気ガスによって可燃物が引火し、火災が生じるおそれがあります。
► 排気ガスは可燃物から十分に離してください。

4.6 安全に関する条件

4.6.1 刈払機

刈払機は、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：
– 刈払機が損傷していない。
– 刈払機から燃料が漏れていない。
– 燃料タンクキャップが密閉されている。
– 刈払機が清潔な状態になっている。
– 操作部が正常に作動し、改造されていない。
– 本書内で推奨されているカッティングアタッチメントとデフレクターの組み合わせが装着されている。
– カッティングアタッチメントとデフレクターが適切に装着されている。
– 本刈払機用の STIHL 純正アクセサリーが装着されている。
– アクセサリーが適切に取り付けられている。
– 手の届くすべてのスクリューと固定部品が確実に締め付けられている。
– エンジンのアイドリング中にカッティングアタッチメントが作動しない。

⚠ 警告

■ 安全な状態にない場合、部品が正常に作動しなくなり、安全装置が働かなくなり、燃料が漏れ出すおそれがあります。重傷や致命傷を負う危険があります。
► 刈払機は必ず損傷のない状態で使用してください。
► 刈払機から燃料が漏れている場合は、刈払機を使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。
► 燃料タンクキャップを閉めます。
► 刈払機が汚れたときは、清掃してください。
► 刈払機は絶対に改造しないでください。例外：本書内で推奨されているカッティングアタッチメントとデフレクターの組み合わせの装着。
► 操作部が正常に作動しない場合、刈払機を使用しないでください。
► 必ず本刈払機用に設計された STIHL 純正アクセサリーを取り付けてください。
► カッティングアタッチメントとデフレクターは、本取扱説明書に従って装着してください。
► アクセサリーは、本取扱説明書またはアクセサリーに付属する取扱説明書に従って装着してください。
► 緩んだスクリューと固定部品は締め付けてください。
► エンジンのアイドリング時にカッティングアタッチメントが回転する場合は、不具合を修正してください。
► 刈払機の開口部には絶対に物を差し込まないでください。

- ► 摩耗するか、損傷したラベルは貼り替えてください。
- ► 不確かなときは、STIHL サービス店にお問い合わせください。

4.6.2 デフレクター

デフレクターは、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：
– デフレクターが損傷していない。
– ライン制限ブレードとスカートを使用している場合：ライン制限ブレードとスカートが適切に取り付けられている。

⚠ 警告

- コンポーネントが安全要件を満たしていない場合は、正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
  - ► デフレクターは必ず損傷のない状態で使用してください。
  - ► ライン制限ブレードとスカートを使用している場合：ライン制限ブレードとスカートを適切に取り付けて作業を行ってください。
  - ► ご不明な点があれば：最寄りの STIHL サービス店にご連絡ください。

4.6.3 草刈ヘッド

草刈ヘッドは、以下の条件が満たされている場合に安全な状態となります：
– 草刈ヘッドが損傷していない。
– 草刈ヘッドが妨害されていない。
– 草刈ヘッドが適切に装着されており、しっかりと締め付けられている。
– カッティングラインが適切に装着されている。
– 摩耗限界を超過していない。

⚠ 警告

- 安全な状態にない場合は、草刈ヘッドやカッティングラインの一部が外れて、飛散する可能性があります。重傷を負う可能性があります。
  - ► 損傷のない草刈ヘッドで作業してください。
  - ► カッティングラインの代わりに金属物を使用しないでください。
  - ► 摩耗限界に注意してそれを守ってください。
  - ► 不明な点がある場合：STIHL サービス店までご来店ください。

4.6.4 金属製カッティングツール

金属製カッティングツールは、以下の条件が満たされている場合に安全な状態となります：
– 金属製カッティングツールと組み付け部品が損傷していない。
– 金属製カッティングツールが変形していない。
– 金属製カッティングツールが適切に装着されており、しっかりと締め付けられている。
– 金属製カッティングツールが適切に目立てされている。
– 金属製カッティングツールの刃先にバリがない。
– 摩耗限界を超過していない。
– STIHL 製以外の金属製カッティングツールを使用する場合は、重量、厚さと直径が STIHL が許可した金属製カッティングツールの最大サイズを上回ってはならず、形状がそれと異なってはならず、品質がそれより劣ってはなりません。

⚠ 警告

- 安全な状態にない場合は、金属製カッティングツールの一部が外れて、飛散する可能性があります。重傷を負う可能性があります。
  - ► 損傷のない金属製カッティングツールと組み付け部品で作業してください。
  - ► 金属製カッティングツールを適切に目立てしてください。
  - ► 刃先のバリを取り除いてください。
  - ► 金属製カッティングツールのバランス調整は STIHL サービス店に依頼してください。
  - ► 摩耗限界に注意してそれを守ってください。
  - ► この取扱説明書に記載されている金属製カッティングツールを使用してください。
  - ► ご不明な点がございましたら、STIHL サービス店にお問い合わせください。

4.7 混合燃料と給油

⚠ 警告

- 本刈払機にはガソリンと 2 ストロークエンジンオイルの混合燃料が必要です。混合燃料とガソリンは、可燃性が極めて高い液体です。混合燃料またはガソリンが裸火や高温の物体に触れると、火災や爆発が生じるおそれがあります。重傷や致命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
  - ► 混合燃料とガソリンは、熱源や炎から保護してください。
  - ► 混合燃料やガソリンは、こぼさないでください。
  - ► 燃料をこぼした場合は、布で拭き取り、刈払機の全部品が乾くまでは エンジンを始動しないでください。
  - ► 喫煙しないでください。
  - ► 火気の近くでは給油しないでください。
  - ► 必ずエンジンを切り、冷ましてから、燃料を給油してください。
  - ► 給油場所から 3 m 以上離れた場所でエンジンを始動します。屋外に限ります。

- 燃料/ガソリンの気化ガスには毒性があります。
  - ► 燃料/ガソリンの気化ガスは吸い込まないでください。
  - ► 換気の良い場所で給油してください。
- 作業中、ブロワーは高温になります。燃料が膨張し、タンク内の圧力が高まります。燃料タンクキャップを開けると、霧状の燃料が吹き出すおそれがあります。漏れ出た燃料は、引火するおそれがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
  - ► 刈払機を冷ましてから燃料タンクキャップを慎重に開けてください。
- 燃料やガソリンが付着した衣服は、引火しやすくなります。重傷や致命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
  - ► 衣服に燃料またはガソリンが付着したときは：着替えてください。
- 混合燃料、ガソリン、および 2 ストロークエンジンオイルは、環境に有害です。
  - ► 燃料、ガソリン、または 2 ストロークエンジンオイルは、こぼさないでください。
  - ► 混合燃料、ガソリン、および 2 ストロークエンジンオイルは、地域の規制と環境要件に従って処分してください。
- 皮膚に付着するか、目に入ると、混合燃料、ガソリン、または 2 ストロークエンジンオイルは炎症を引き起こすことがあります。
  - ► 混合燃料、ガソリン、および 2 ストロークエンジンオイルには触れないでください。
  - ► 皮膚に付着したときは、大量の水と石鹸で付着した部分を洗浄してください。
  - ► 眼に入ったときは、大量の水で 15 分以上洗眼し、医師の診察を受けてください。
- 刈払機のイグニッションシステムは、火花を発生します。引火や爆発が起きやすい環境下では、エンジン外部の火花によって火災や爆発が生じるおそれがあります。重傷や致命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
  - ► スパークプラグは、本取扱説明書に従って使用してください。
  - ► スパークプラグを差し込み、確実に締め付けます。
  - ► スパークプラグターミナルを接続し、確実に押し込みます。
- 不適切なガソリンまたは不適切な 2 ストロークエンジンオイルを使用するか、ガソリンと 2 ストロークエンジンオイルの混合比率が不適切な混合燃料を使用すると、刈払機が損傷するおそれがあります。
  - ► 燃料は、本取扱説明書に従って混合してください。
- ガソリンと 2 ストロークエンジンオイルの混合燃料は、長期にわたって保管すると分離するか、劣化することがあります。分離したり、劣化したりした混合燃料を使用すると、刈払機が損傷するおそれがあります。
  - ► 刈払機に給油する前に、燃料を十分に混合してください。
  - ► 混合してから 30 日以内のガソリンと 2 ストロークエンジンオイルの混合燃料を使用してください (STIHL MotoMix の場合は、5 年以内に使用してください)。

4.8 作業

⚠ 警告

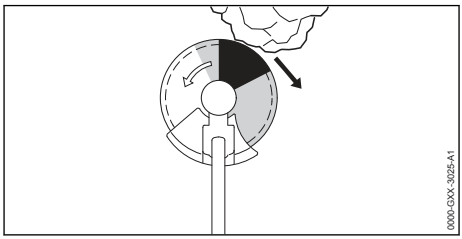
- 使用者がエンジンを正しく始動しないと、刈払機の制御を失う可能性があります。これによって使用者が重傷を負う恐れがあります。
  - ► この取扱説明書に記載されている通りにエンジンを始動してください。
  - ► カッティングツールが地面や物に触れている場合：エンジンを始動しないでください。
- エンジン始動時にスライドコントロールは **START**の位置にあります。**START**の位置では、エンジン回転数はアイドリング回転数よりも高く、エンジンが始動した瞬間にカッティングツールが回転する可能性があります。これによって使用者が重傷を負う恐れがあります。
  - ► カッティングツールには触れないでください。
  - ► この取扱説明書に記載されている通りにエンジンを始動してください。
- 特定の状況では、使用者が集中して作業することができなくなります。使用者が刈払機の制御を失い、つまづいたり転倒したりして重傷を負う可能性があります。
  - ► 冷静かつ思慮深く作業してください。
  - ► 明るさや視界が悪い場合：刈払機で作業しないでください。
  - ► 刈払機は一人で操作してください。
  - ► カッティングツールは地面に近い高さで動かしてください。
  - ► 障害物に気を付けてください。
  - ► 地面に立って作業をし、バランスを保ってください。
  - ► 疲労を感じた場合：作業を中断して休憩してください。
- エンジン運転中は排気ガスが出ます。排気ガスは有毒であり、吸い込むと命にかかわる危険があります。
  - ► 排気ガスを吸い込まないようにしてください。
  - ► 刈払機での作業は、換気の良い場所で行ってください。
  - ► 吐き気、頭痛、視覚障害、聴覚障害、めまいが起きた場合：作業を中止し、医師の診察を受けてください。

- エンジン運転中使用者がイヤープロテクター (聴力保護具) を装着している場合、使用者は騒音を十分に知覚したり、判断したりすることができません。
  - ► 冷静かつ思慮深く作業してください。
- 刈払機で作業している時に、スライドコントロールが**START**の位置にあると、使用者は刈払機を制御しながら作業することができなくなります。これによって使用者が重傷を負う恐れがあります。
  - ► 作業する時は、スライドコントロールがIの位置にあることを確認してください。
  - ► この取扱説明書に記載されている通りにエンジンを始動してください。
- 回転中のカッティングツールに触れると、使用者が自分の手指を切ってしまう可能性があります。これによって使用者が重傷を負う恐れがあります。
  - ► 回転中のカッティングツールには触れないでください。
  - ► カッティングツールが障害物によって動かなくなった場合：エンジンを停止します。まずこれを行ってから、障害物を取り除きます。
- 作業時にナイロンコードが長すぎると、刈払機が損傷するおそれがあります。
  - ► ライン制限ブレードが取り付けられた適切なデフレクターを使用してください。
- カッティングツールが障害物によって動かなくなった場合にスロットルを開くと、刈払機が損傷する可能性があります。
  - ► エンジンを停止します。まずこれを行ってから、障害物を取り除きます。
- 刈払機に、設計強度を超える異常な負荷 (激しい衝撃や落下など) がかかった場合は、刈払機が安全な状態ではなくなっている可能性があります。重傷を負い、物的損害に至る可能性があります。
  - ► 刈払機が安全な状態にあることを確認してください。
  - ► ご不明な点がございましたら、STIHL サービス店にお問い合わせください。
- 作業中に刈払機の挙動が変化したり異常を感じたりした場合は、刈払機が安全な状態ではなくなっている可能性があります。重傷を負い、物的損害に至る可能性があります。
  - ► 作業を終了し、STIHL サービス店にお問い合わせください。
- 作業中は、刈払機が振動することがあります。
  - ► 手袋を着用してください。



  - ► 休憩をとってください。
  - ► 血行障害の兆候 (レイノー症候群) が現れた場合：医師の診察を受けてください。
- 作業中にカッティングツールが異物に当たると、その異物の全体または一部が高速で飛散することがあります。怪我や物的損害に至る可能性があります。
  - ► 作業範囲にある異物は取り除いてください。
- 回転中のカッティングツールが硬い物体に当たると、火花が発生し、カッティングツールが損傷する可能性があります。発火しやすい環境では、火災が引き起こされる可能性があります。重傷または致命傷を負い、物的損害に至る可能性があります。
  - ► 発火しやすい環境では作業しないでください。
  - ► カッティングツールが安全な状態にあることを確認してください。
- スロットルトリガーを放してもカッティングツールは短時間回転し続けます。重傷を負う可能性があります。
  - ► カッティングツールが回転しなくなるまで待ってください。
- 危険な状況では使用者がパニックに陥り、キャリングシステムを外せなくなる可能性があります。これによって使用者が重傷を負う恐れがあります。
  - ► キャリングシステムを外す練習をしてください。

4.9 反発力



キックバックは、以下の原因で生じることがあります。

– 回転する金属製カッティングアタッチメントの影付きの範囲または黒の範囲が硬い物体に接触し、急ブレーキが掛かった。
– 回転する金属製カッティングアタッチメントが切り口内に挟まった。

キックバックの危険は、黒の範囲で最大になります。

⚠ 警告

- 上記の状況が生じると、カッティングアタッチメントが突然減速するか、回転が停止し、右側または使用者の方向 (黒の矢印方向) に飛ばさ

れるおそれがあります。刈払機の制御が失われることがあります。その結果、重傷または致命傷を負うおそれがあります。
- ► 刈払機を両手で確実に保持してください。
- ► 刈払機は本書に従って使用してください。
- ► 黒の範囲を使用して切断しないでください。
- ► 本書内で推奨されているカッティングアタッチメントとデフレクターの組み合わせを使用してください。
- ► 金属製カッティングアタッチメントは適切に目立てしてください。
- ► エンジンをフルスロットルにして作業を行ってください。

4.10 輸送

⚠ 警告

- ギアボックスは作業中に熱くなることがあります。火傷を負う危険性があります。
  - ► 高温のギアボックスに触らないでください。
- 刈払機は運搬中に倒れたり、ずれたりするおそれがあります。その結果、負傷したり、物的損害につながったりするおそれがあります。
  - ► エンジンを切ります。
  - ► 金属製カッティングアタッチメントが装着されている場合：運搬用ガードを取り付けてください。
  - ► 転倒したり、ずれたりしないよう、刈払機を固定ストラップまたはネットで固定します。
- しばらく使用すると、マフラーとエンジンが高温になる可能性があります。火傷を負う危険性があります。
  - ► 刈払機を背負って運搬します。

4.11 保管

⚠ 警告

- 子供は刈払機の危険の認識や評価ができず、重傷を負うおそれがあります。
  - ► エンジンを停止します。
  - ► 金属製カッティングツールが装着されている場合：運搬用ガードを取り付けてください。
  - ► 刈払機は子供の手の届かないところに保管してください。
  - ► 刈払機は安定した位置に置き、落下しないように固定した上で保管してください。
- 刈払機の電気接点と金属部品は、水分が付着すると腐食する可能性があります。それにより、刈払機が損傷するおそれがあります。
  - ► 刈払機は清潔な乾燥した状態で保管してください。

4.12 清掃、整備、修理

⚠ 警告

- 清掃、整備、修理時にエンジンを作動させておくと、カッティングアタッチメントが偶発的に回転し始めるおそれがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
  - ► エンジンを切ります。
- 使用後は、マフラーとエンジンが高温になっている場合があります。それにより火傷を負うおそれがあります。
  - ► マフラーとエンジンが冷えるまで待ちます。
- ギアハウジングは作業中に高温になることがあります。火傷を負う危険性があります。



  - ► 高温のギアハウジングには触れないでください。
- 刺激の強い洗浄剤、高圧洗浄機、尖った物体は、刈払機、デフレクター、カッティングアタッチメントを損傷させるおそれがあります。刈払機、デフレクター、カッティングアタッチメントを適切に清掃しないと、コンポーネントが正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。重傷を負うおそれがあります。
  - ► 刈払機、デフレクター、カッティングアタッチメントは、本取扱説明書に従って清掃してください。
- 刈払機、デフレクター、カッティングアタッチメントを本書に従って整備· 修理しないと、部品が正常に機能しなくなるか、安全装置が働かなくなるおそれがあります。その結果、重傷や致命傷を負うおそれがあります。
  - ► 刈払機とデフレクターは、本取扱説明書に従って整備· 修理してください。
  - ► カッティングアタッチメントは、同梱されている取扱説明書またはパッケージに記載されている指示に従って整備してください。
- カッティングアタッチメントの清掃または整備中に、鋭利な刃先でケガをする場合があります。それにより負傷するおそれがあります。



  - ► 丈夫な素材の作業用手袋を着用してください。

5 刈払機の使用準備

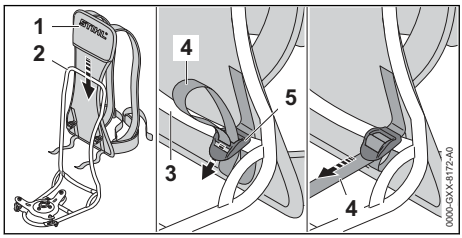
5.1 刈払機の使用準備

作業を開始する前に、以下の手順に従ってください：

- ► 以下の部品が安全な状態になっているか確認してください :
  - – 刈払機、📖 4.6.1。
  - – デフレクター、📖 4.6.2。
  - – 草刈ヘッドまたは金属製カッティングアタッチメント、📖 4.6.3 または📖 4.6.4。
- ► 刈払機を掃除します、📖 15.1。
- ► キャリングシステムを組み立てます、📖 6.1
- ► パワーヘッドを取り付けます、📖 6.2
- ► ドライブチューブを取り付けます、📖 6.3。
- ► ループハンドルを取り付けます、📖 6.4。
- ► カッティングアタッチメントとデフレクターの組み合わせを選択します、📖 20。
- ► デフレクターを取り付けます、📖 6.6.1。
- ► ユニバーサルデフレクターを草刈ヘッドと共に使用している場合 : スカートとライン制限ブレードを取り付けます、📖 6.7.1。
- ► 金属製カッティングアタッチメント使用時 : バリアバー付きループハンドルを取り付けます、📖 6.5。
- ► 草刈ヘッドまたは金属製カッティングアタッチメントを取り付けます、📖 6.8.1 または 📖 6.9.1
- ► 刈払機に燃料を補給します、📖 8.2。
- ► キャリングシステムを取り付け、調整します、📖 7.1。
- ► 操作部を点検します、📖 10.1。
- ► 上記の作業を行うことができない場合は : 刈払機を使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。

6 刈払機の組み立て

6.1 キャリングシステムの組み立て

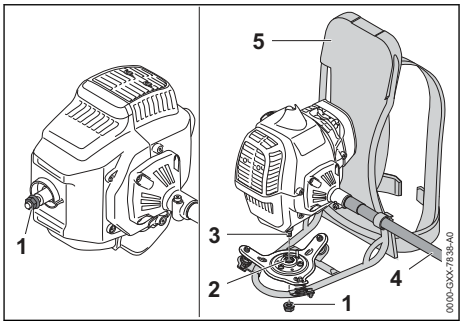


- ► スリーブ (1) をフレーム (2) に取り付けます。
- ► ストラップ (4) をクロスバー (3) に取り付けます。
- ► ストラップ (4) をファスナー (5) に通します。
- ► ストラップ (4) を締め付けます。

キャリングシステムは取り外さないでください。

6.2 パワーヘッドの取り付け

- ► エンジンを切ります。

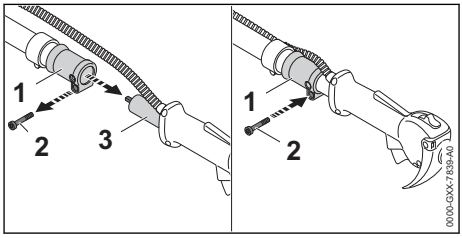


- ► ナット (1) を取り外します。
- ► パワーヘッドをキャリングシステム (5) に当てます。フレキシブルドライブチューブ (4) を右向きにしてください。
- ► ねじ山付きロッド (3) を穴に差し込みます。
- ► ナット (1) を取り付け、しっかりと締め付けます。

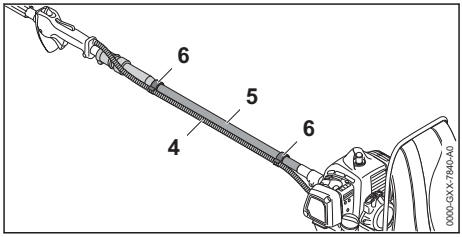
パワーヘッドは取り外さないでください。

6.3 ドライブチューブの取り付け

- ► エンジンを切ります。



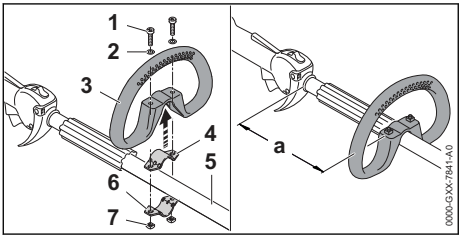
- ► スクリュー (2) を取り外します。
- ► カップリングスリーブ (1) をドライブチューブ (3) の端に当て、ドライブチューブに押し込むことができる位置まで回転させます。
- ► カップリングスリーブ (1) をドライブチューブ (3) に止まるまで押し込みます。
- ► スクリュー (2) を差し込み、しっかりと締め付けます。



- スロットルケーブル (4) をケーブルリテイナー (6) でフレキシブルドライブチューブ (5) に固定します。スロットルケーブル (4) はドライブチューブ (5) に巻き付けないでください。

6.4 ループハンドルの取り付け

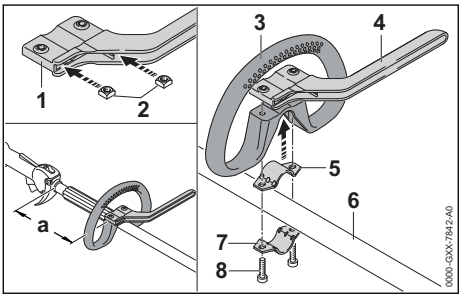
- エンジンを切ります。



- クランプ (4) をループハンドル (3) に取り付けます。
- ループハンドル (3) をクランプ (4) と共にシャフト (5) に載せます。
- ワッシャー (2) をスクリュー (1) に取り付けます。
- クランプ (6) をシャフト (5) に位置決めします。
- スクリュー (1) をループハンドル (3) とクランプ (4 と 6) の穴に差し込みます。
- ナット (7) を取り付けます。
- 距離 'b' が 20 cm 未満になる位置までループハンドル (3) をドライブチューブ上でスライドさせます。
- ナット (7) をしっかりと締め付けます。

6.5 バリアバー付きループハンドルの取り付け

- エンジンを切ります。

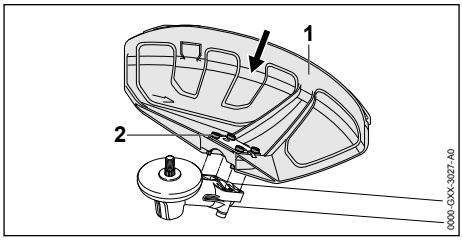


- ナット (2) をバリアバー (1) に挿入します - 穴の位置を合わせてください。
- クランプ (5) をループハンドル (3) に取り付けます。
- ループハンドル (3) をクランプ (4) とバリアバー (4) と共にドライブチューブ (6) に載せます。
- クランプ (7) をドライブチューブ (6) に当てます。
- スクリュー (8) を差し込みます。
- 距離 'b' が 20 cm 未満になる位置までループハンドル (3) をドライブチューブ上でスライドさせます。
- スクリュー (8) をしっかりと締め付けます。

6.6 デフレクターの取り付けと取り外し

6.6.1 ガードの取り付け

- エンジンを切ります。



- デフレクター (1) をギアハウジングのガイドに取り付け、リミットストップの位置まで押し込みます。
- スクリュー(2) を挿入し、しっかりと締め付けます。

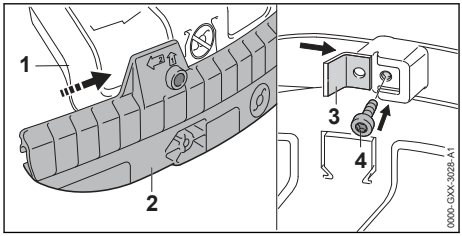
6.6.2 デフレクターの取り外し

- エンジンを切ります。
- スクリューを取り外します。
- ガードを取り外します。

6.7 スカートの取り付けと取り外し

6.7.1 スカートの取り付け

- エンジンを切ります。

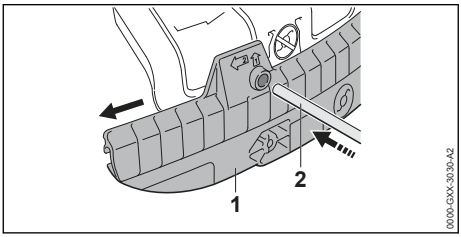


- スカート (2) のガイドスロットをスライドさせてデフレクター (1) に取り付けます - 所定の位置にはめてください。
- ライン制限ブレード (3) をスカート (2) のスロットに押し込みます。

► スクリュー (4) を差し込み、しっかりと締め付けます。

6.7.2 スカートの取り外し

► エンジンを切ります。



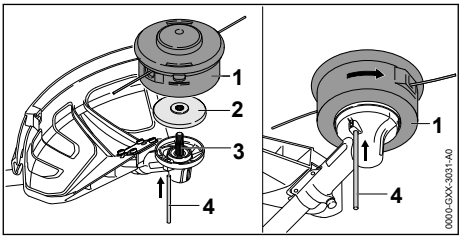
► ストップピン (2) をスカート (1) の穴に差し込みます。
► ストップピン (2) を使用してスカート (1) をスライドさせ、デフレクターから取り外します。

ライン制限ブレードをスカート (1) に残しておくことができます。

6.8 草刈ヘッドの取り付けと取り外し

6.8.1 草刈ヘッドの取り付け

► エンジンを切ります。



► 小径側を表に向けてスラストプレート (2) をシャフト (3) に通します。
► 草刈ヘッド (1) をシャフト (3) に取り付け、手で反時計回りにまわします。
► ストップピン (4) を穴のリミットストップの位置まで差し込み、押したまま保持します。
► 草刈ヘッド (1) を反時計回りにまわし、ストップピン (4) を所定の位置にはめ込みます。
これでシャフト (3) が固定されます。
► 草刈ヘッド (1) を手でしっかりと締め付けます。
► ストップピン (4) を取り外します。

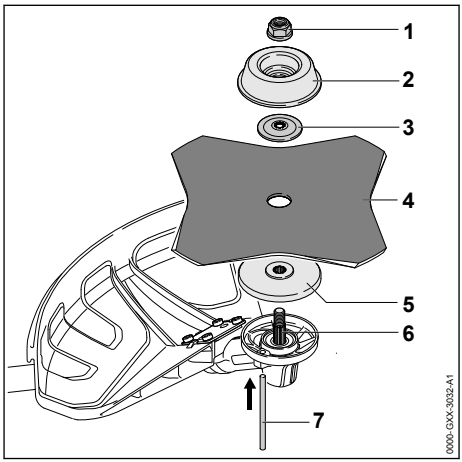
6.8.2 草刈ヘッドの取り外し

► エンジンを切ります。
► ストップピンを穴に止まるまで差し込み、押したまま保持します。
► 草刈ヘッドを回転させ、ストップピンを所定の位置にはめ込みます。
これでシャフトが固定されます。
► 草刈ヘッドを時計回りにまわして外します。
► スラストプレートを取り外します。
► ストップピンを取り外します。

6.9 金属製カッティングアタッチメントの取り付けと取り外し

6.9.1 金属製カッティングアタッチメントの取り付け

► エンジンを切ります。



► 小径側を表に向けてスラストプレート (5) をシャフト (6) に取り付けます。
► 金属製カッティングアタッチメント (4) をスラストプレート (5) に載せます。刃先が 4 枚を超える草刈ブレードを取り付けている場合 : 刃先をデフレクターの矢印と同じ方向に向けてください。
► せり上がった側を表に向けてスラストワッシャー (3) を金属製カッティングアタッチメント (4) に取り付けます。
► 閉じている側を表に向けてライダープレート (2) をスラストワッシャー (3) に取り付けます。
► ストップピン (7) を穴に止まるまで差し込み、押したまま保持します。
► 金属製カッティングアタッチメント (4) を反時計回りにまわし、ストップピン (7) を所定の位置にはめ込みます。
これでシャフト (6) が固定されます。
► ナット(1) を取り付け、反時計回りに確実に締め付けます。
► ストップピン (7) を取り外します。

6.9.2 金属製カッティングアタッチメントの取り外し

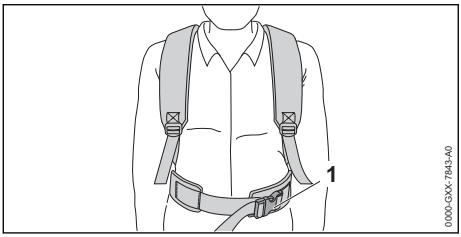
► エンジンを切ります。

- ストップピンを穴のリミットストップの位置まで差し込み、押したまま保持します。
- 金属製カッティングアタッチメントを時計回りにまわし、ストップピンを所定の位置にはめ込みます。
  これでシャフトが固定されます。
- 固定ナットを時計回りにまわして取り外します。
- 固定部品、金属製カッティングアタッチメント、スラストワッシャーを取り外します。
- ストップピンを取り外します。

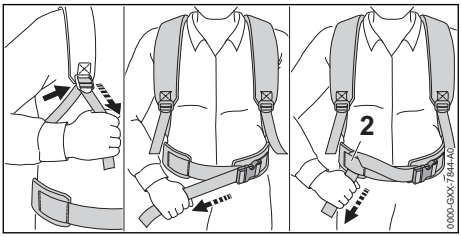
7 刈払機の調整

7.1 キャリングシステムの装着と調整

- キャリングシステムを背負います。



- 腰ベルトのバックル (1) を留めます。



- 腰ベルトが腰にたるみなく接触し、バックパッドが背中に密着するようになるまでストラップを締め付けます。
- 腰ベルトの端をループ (2) に通します。

7.2 キャリングシステムの取り外し

- エンジンを切ります。
- ストラップを緩めます。
- 腰ベルトのバックルを外します。
- 刈払機を背中から降ろします。

8 燃料の混合と刈払機への給油

8.1 燃料の混合

本章の内容はビデオでご覧いただけます。

www.stihl.com/sxpweh

本刈払機には、ガソリンと 2 ストロークエンジンオイルを 50:1 の比率で混合した混合燃料が必要です。

STIHL 社では STIHL MotoMix(モトミックス) の使用をお勧めしています。

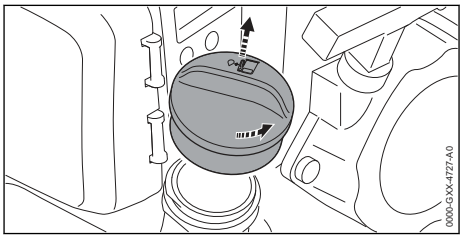
ご自身で燃料を混合する場合は、STIHL 2 ストロークエンジンオイルまたは JASO FB、JASO FC、JASO FD、ISO-L-EGB、ISO-L-EGC あるいは ISO-L-EGD に準拠する他の高性能エンジンオイルを使用してください。

機械が寿命に達するまでの全期間で排ガス基準が満たされるよう、STIHL 社では STIHL HP Ultra(ウルトラ) 2 ストロークエンジンオイルまたは同等の高性能エンジンオイルの使用を指定しています。

- ガソリンのオクタン価が 90 RON 以上で、エタノール濃度が 10%以下 (ブラジルでは 27%以下) のガソリンを使用してください。
- 使用する 2 ストロークエンジンオイルが要件を満たしているか確認してください。
- 燃料の必要量に応じて、50 : 1 の混合比でガソリンと 2 ストロークエンジンオイルの適正量を割り出します。混合燃料の例 :
  - 20 ml の 2 ストロークエンジンオイルと 1 L のガソリン
  - 60 ml の 2 ストロークエンジンオイルと 3 L のガソリン
  - 100 ml の 2 ストロークエンジンオイルと 5 L のガソリン
- 承認された清潔な燃料容器にまず 2 ストロークエンジンオイルを入れ、次にガソリンを加えます。
- 燃料を混合します。

8.2 刈払機の給油

- エンジンを切ります。
- 燃料タンクキャップが上を向くように刈払機を平らな面に置きます。
- 湿らせた布で燃料タンクキャップとその周囲を掃除します。

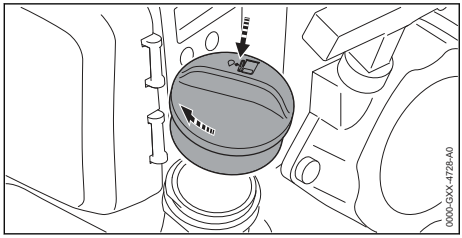


► 取り外しが可能な状態になるまでタンクキャップを反時計回りにまわします。
► 燃料タンクキャップを取り外します。

注記

■ 照明や直射日光を当てたり、極端な温度にさらしたりすると、燃料の分離や劣化が加速することがあります。分離したり、劣化したりした混合燃料を使用すると、刈払機が損傷するおそれがあります。
  ► 燃料を混合してから給油してください。
  ► 30 日以上 (STIHL MotoMix の場合は 5 年以上) 保管した混合燃料は使用しないでください。

► 給油時は燃料をこぼさないよう注意し、燃料の液面とタンク上端の間に 15 mm 以上の隙間を確保してください。



► タンク開口部に燃料タンクキャップを載せます。
► タンクキャップを時計回りにまわし、手で確実に締め付けます。
燃料タンクが密閉されます。

9 エンジンの始動と停止

9.1 適切な始動手順の選択

エンジンに始動準備が必要になる状況は?

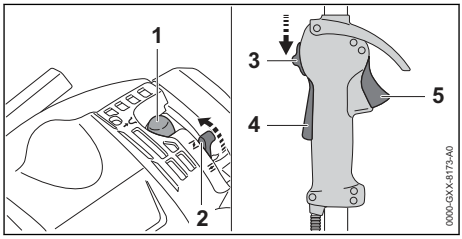
以下のいずれかの条件が該当する場合は、エンジンに始動準備を行う必要があります :
– エンジンが周囲温度の場合。
– 初回加速時にエンジンがストールした。
– 燃料タンクが空になったためエンジンがストールした。
► エンジンを始動する準備をしてから、🕮 9.2 エンジンを始動します,🕮 9.3。

始動準備なしにエンジンを始動できる状況は?

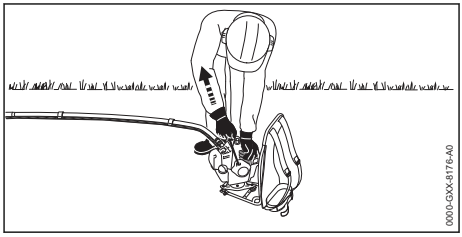
1 分以上運転し、短時間の休憩時のみエンジンを切った場合は、始動準備なしにエンジンを始動できます。
► エンジンを始動します, 🕮 9.3。

9.2 エンジンの始動準備

► 適切な始動手順を選択します。
► 刈払機を平坦な面に置きます。
► フレキシブルドライブチューブを真っすぐにし、地面に置きます。カッティングアタッチメントが地面やその他の物体と接触していないことを確認します。
► 運搬用ガードを取り外します。



► 手動燃料ポンプ (1) を最低 5 回押します。
► チョークレバー (2) を の位置に動かします。
► スロットルトリガーロックアウト (4) を押し下げ、そのまま保持します。
► スロットルトリガー (5) を引き、そのまま保持します。
► スライドコントロール (3) を**START**の位置へ動かし、その位置で保持します。
► スロットルトリガー (5) とトリガーロックアウト (4) を放します。
スライドコントロール (3) が**START**の位置で保持されます。

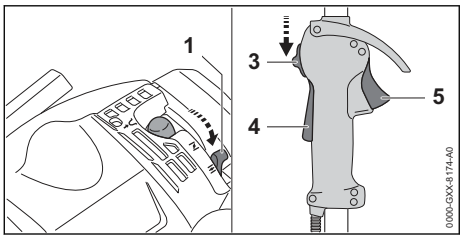


► 刈払機を地面に押し付けます。左手でパワーヘッドを保持し、左足をキャリングフレームに載せてください。
► かみ合った感じがするまで、右手でスターターグリップをゆっくり引きます。
► エンジンが初爆し、停止するまでスターターグリップを素早く引き、スターターロープを巻き込む作業を数回繰り返します。
► エンジンが停止しない場合 : エンジンが燃料を吸い込みすぎないよう、チョークレバー (2) を の位置に合わせます。
エンジンが停止します。

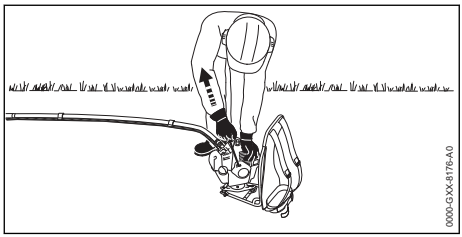
9.3 エンジンの始動

► 適切な始動手順を選択します。
► 刈払機を平坦な面に置きます。

- フレキシブルドライブチューブを真っすぐにし、地面に置きます。カッティングアタッチメントが地面やその他の物体と接触していないことを確認します。
- 運搬用ガードを取り外します。

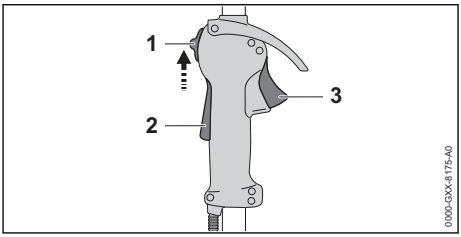


- チョークレバー (1) を☰の位置に動かします。
- スロットルトリガーロックアウト (4) を押し下げ、そのまま保持します。
- スロットルトリガー (5) を引き、そのまま保持します。
- スライドコントロール (3) を**START**の位置へ動かし、その位置で保持します。
- スロットルトリガー (5) とトリガーロックアウト (4) を放します。
  スライドコントロール (3) が**START**の位置で保持されます。



- 刈払機を地面に押し付けます。左手でパワーヘッドを保持し、左足をキャリングフレームに載せてください。
- かみ合った感じがするまで、右手でスターターグリップをゆっくり引きます。
- エンジンが始動するまで、スターターグリップを素早く引き、スターターロープを巻き込む作業を数回繰り返します。
- スロットルトリガー (5) を軽く押します。
  スライドコントロール (3) が**I**の位置に合います。エンジンがアイドリング回転数で作動します。
- エンジンのアイドリング中にカッティングアタッチメントが回転する場合 : 故障を修理してください。
  アイドリング回転数の調整が不適切です。
- エンジンが始動しない場合 : エンジンの始動準備を行ってから再びエンジンの始動を試みてください。

9.4 エンジンの停止



- スロットルトリガー (3) とトリガーロックアウト (2) を放します。
  カッティングアタッチメントが停止します。
- スライドコントロール (1) を**STOP-0**の位置に動かします。
  エンジンが停止します。
- エンジンが停止しない場合 :
  - チョークレバーを⊢の位置に動かします。
    エンジンが停止します。
  - 刈払機を使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。
    スライドコントロールが故障しています。

10 刈払機のテスト

10.1 操作部のテスト

スロットルトリガーロックアウトおよびスロットルトリガー

- エンジンを停止します。
- スロットルトリガーロックアウトを押さずにスロットルトリガーを押せるかどうかを試してください。
- スロットルトリガーが押せてしまう場合 : 刈払機の使用を中止して、STIHL サービス店までご来店ください。
  スロットルトリガーロックアウトが故障しています。
- スロットルトリガーロックアウトを押し、そのまま保持します。
- スロットルトリガーを押します。
- スロットルトリガーロックアウトとスロットルトリガーを放します。
- スロットルトリガーまたはスロットルトリガーロックアウトが動きにくくなっているか、元の位置に戻らない場合 : 刈払機の使用を中止して、STIHL サービス店までご来店ください。
  スロットルトリガーまたはスロットルトリガーロックアウトが故障しています。

スロットルケーブルの調整

- エンジンを始動します。

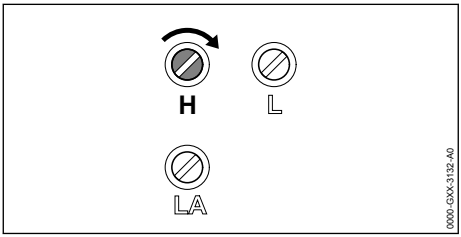
► スロットルトリガーロックアウトを押さずにスロットルトリガーを押します。
► エンジンが加速した場合 : スロットルケーブルを調整してください。
スロットルケーブルの調整が不適切です。

エンジンの停止
► エンジンを始動します。
► スライドコントロールを**STOP-0**の位置に動かします。
エンジンが停止します。
► エンジンが停止しない場合 :
► チョークレバーを の位置に動かし、スロットルトリガーを押します。
エンジンが停止します。
► 刈払機の使用を中止して、STIHL サービス店までご来店ください。
スライドコントロールが故障しています。

11 刈払機の操作

11.1 高地で作業する場合用のキャブレター調整

高地で刈払機を使用すると、エンジンの本来の出力が発揮されません。エンジン出力が最適化されるよう、キャブレターの設定を調整してください。
► エンジンを始動します。
► スロットルを約 1 分間開閉させ、エンジンを暖機します。

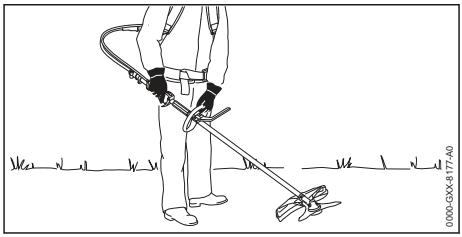


注記

■ 刈払機を再び低地で使用する場合は、エンジンがオーバーヒートするおそれがあります。
► 標準設定を行います。

► エンジン出力が最適化されるまで高速調整スクリュー H を時計回りにまわします。

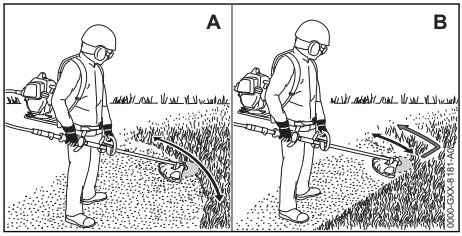
11.2 刈払機の保持と操作



► 刈払機を背負って運搬します。
► 右手でコントロールハンドルを握り、刈払機を保持します - コントロールハンドルに親指をかけてください。
► 左手でループハンドルを握り、刈払機を保持します - ループハンドルに親指をかけてください。

11.3 刈払い

刈払い高さは、地面からカッティングアタッチメントまでの距離によって決まります。

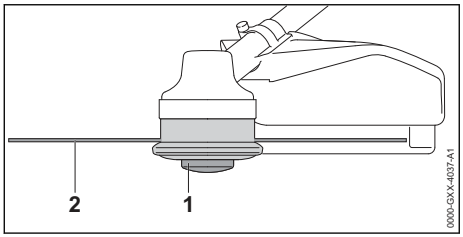


► 刈払機を左右に弧を描くように動かします (A)。金属製カッティングアタッチメント使用時 : 金属製カッティングアタッチメントの左側で刈払いします (B)。
► 一定のペースでゆっくりと前進します。

11.4 ナイロンラインの送り出し調整

11.4.1 オートカット草刈ヘッドのライン送り出し

► 回転する草刈ヘッドで地面を軽く叩きます。ナイロンラインの未使用部分が約 30 mm 送り出されます。カッティングラインは、デフレクター内側のライン制限ブレードで適切な長さに切り揃えられます。



自動送り出し機能は、カッティングラインが 25 mm よりも短いときは作動しません。
- エンジンを切ります。
- 草刈ヘッドのスプール (1) を押したまま保持します。
- カッティングライン (2) を引き出します。
- 必要な長さのカッティングライン (2) を引き出せない場合：スプール (1) またはカッティングライン (2) を交換します。
  スプールが空になっています。

11.4.2 スーパーカット草刈ヘッドのライン送り出し

カッティングラインは自動的に調整されます。カッティングラインは、デフレクター内側のライン制限ブレードで適切な長さに切り揃えられます。

自動送り出し機能は、カッティングラインが 40 mm よりも短いときは作動しません。
- エンジンを切ります。
- カッティングラインを引き出します。
- 必要な長さのカッティングラインを引き出せない場合：ナイロンラインを交換します。
  スプールが空になっています。

12 作業後

12.1 作業終了時
- エンジンを切ります。
- 刈払機が冷めるまで待ちます。
- 刈払機が濡れている場合は、刈払機を乾かします。
- 刈払機を清掃します。
- デフレクターを掃除します。
- カッティングアタッチメントを掃除します。
- 金属製カッティングアタッチメントが装着されている場合、適合する運搬用ガードを取り付けてください。

13 運搬

13.1 刈払機の運搬
- エンジンを切ります。
- 金属製カッティングアタッチメントが装着されている場合、適合する運搬用ガードを取り付けてください。

刈払機の運搬
- 刈払機を背負います。
- 右手でコントロールハンドルを握り、刈払機を保持します。
- 左手でループハンドルを握り、刈払機を保持します。

刈払機の車両輸送
- 倒れたり、ずれたりしないよう刈払機を固定してください。

14 保管

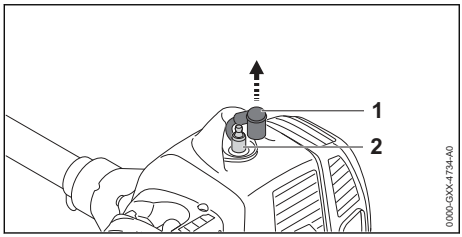
14.1 刈払機の保管
- エンジンを停止します。
- 金属製カッティングツールが装着されている場合：適切な運搬用ガードを取り付けてください。
- 刈払機は以下の条件が満たされるように保管してください：
  - 刈払機が倒れたり動いたりしないようにすること。
  - 刈払機が子供の手の届かないところにあること。
  - 刈払機が清潔かつ乾燥した状態にあること。
  - 刈払機が安定した位置にあり、落下しないように固定されていること。
- 刈払機を 30 日以上保管する場合：
  - カッティングツールを取り外します。
  - 燃料タンクキャップを開けます。
  - 燃料タンクを空にします。
  - 燃料タンクキャップを閉めます。
  - 手動燃料ポンプが装着されている場合：手動燃料ポンプを最低 5 回押します。
  - エンジンを始動し、エンジンが停止するまでアイドリングを続けます。

15 清掃

15.1 刈払機の清掃
- エンジンを切ります。
- 刈払機が冷めるまで待ちます。
- 刈払機を湿らせた布または STIHL 樹脂溶剤で掃除します。
- 冷却風吸入部を柔らかいブラシで掃除します。

15.2 デフレクターとカッティングアタッチメントの清掃
- エンジンを切ります。
- デフレクターとカッティングアタッチメントを湿らせた布または柔らかいブラシで掃除します。

15.3 スパークプラグの清掃
- エンジンを切ります。
- 刈払機が冷めるまで待ちます。



- スパークプラグターミナル (1) を引き抜きます。
- スパークプラグ (2) 周辺が汚れている場合は、布でスパークプラグ (2) 周辺を清掃してください。
- スパークプラグ (2) を取り外します。
- スパークプラグ (2) を布で掃除します。
- スパークプラグ (2) が腐食している場合は、新しいスパークプラグ (2) を取り付けてください。
- スパークプラグ (2) を差し込み、締め付けます。
- スパークプラグターミナル (1) を奥まで押し込みます。

16 整備

16.1 整備間隔

整備間隔は、環境と運転条件によって異なります。STIHL 社では次の間隔による整備をお勧めしています：

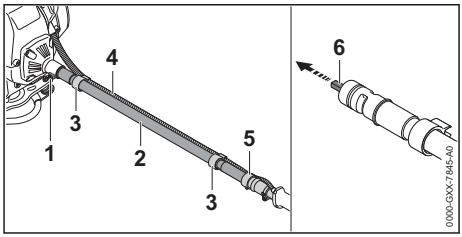
25 運転時間毎
- ギアボックスを潤滑します。
- フレキシブルシャフトを潤滑し、向きを逆にします。

100 運転時間毎
- 新しいスパークプラグを取り付けます。

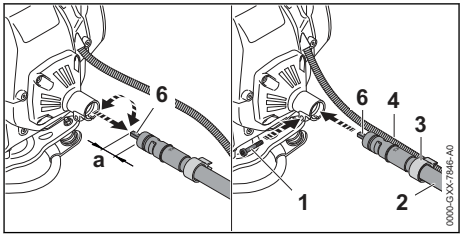
毎月
- STIHL サービス店に燃料タンクの清掃を依頼してください。
- STIHL サービス店に燃料タンクのピックアップボディ (フィルター) の清掃を依頼してください。

12 ヵ月毎
- STIHL サービス店に燃料タンクのピックアップボディ (フィルター) の交換を依頼してください。

16.2 フレキシブルシャフトの潤滑と方向転換



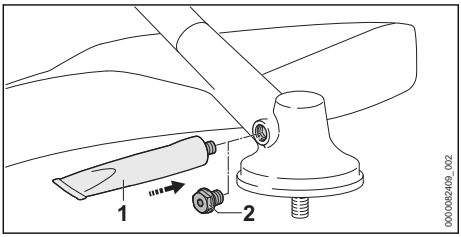
- スロットルケーブル (4) をリテイナー (3) で所定の位置に固定します。
- スクリュー (1) を取り外します。
- フレキシブルドライブチューブ (2) をフレキシブルシャフト (6) と共に引き抜きます。
- フレキシブルシャフト (6) のパワーヘッド側とカップリングスリーブ (5) 側に印を付けます。
- フレキシブルシャフト (6) を引き抜きます。
- フレキシブルシャフト (6) が青に変色している場合：フレキシブルシャフト (6) を交換してください。
- フレキシブルシャフト (6) に STIHL 多目的グリースを均一に塗布します。
- フレキシブルシャフト (6) の向きを逆にします。
- フレキシブルシャフト (6) をフレキシブルドライブチューブ (2) に押し込みます。
  フレキシブルシャフト (6) のパワーヘッド側だった端がカップリングスリーブ (5) 側を向いています。



- フレキシブルシャフト (6) を前後に回転させ、距離'a'が 1.5 cm になるまでカップリングスリーブ (5) の方向に押し込みます。
- フレキシブルドライブチューブ (2) をフレキシブルシャフト (6) と共にパワーヘッドに取り付け、フレキシブルドライブチューブ (2) の **TOP** の文字が表を向くよう位置を合わせます。
- スクリュー (1) を取り付けます。

► スロットルケーブル (4) をケーブルリテイナー (3) でフレキシブルドライブチューブ (2) に固定します。スロットルケーブル (4) はドライブチューブ (2) に巻き付けないでください。

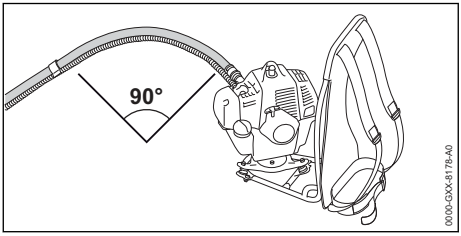
16.3 ギアボックスの潤滑



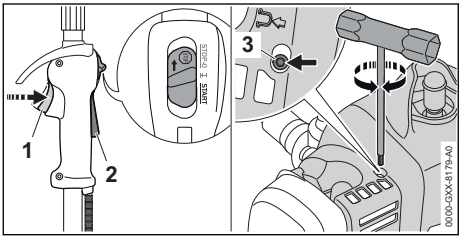
► スクリュープラグ (2) を取り外します。
► スクリュープラグ (2) の端にグリースが見えない場合 :
  ► STIHL ギアグリースのチューブ (1) をねじ込みます。
  ► 5 g の STIHL ギアグリースをギアハウジングに注入します。
  ► STIHL ギアグリースのチューブ (1) を注入口から外します。
  ► スクリュープラグ (2) を取り付け、確実に締め付けます。
  ► 負荷をかけずに刈払機を 1 分間作動させます。
  STIHL ギアグリースが均等に行き渡ります。

16.4 スロットルケーブルの調整

► エンジンを始動します。



► フレキシブルドライブチューブを 90° 曲げて地面に置きます。



► ロックアウトレバー (2) を押さずにトリガー (1) を引いてみます。
► エンジンが加速した場合 : エンジン回転数が低下しなくなるまでトリガー (1) を引いたままスクリュー (3) を反時計回りにまわします。
  スロットルケーブルの張りすぎが解消されます。
► ロックアウトレバー (2) を押さずにトリガー (1) を引いたまま保持します。
► エンジンが加速するまでスクリュー (3) を時計回りにまわします。
► スクリュー (3) を反時計回りに 2 回転戻します。
  エンジンがアイドリング状態になり、スロットルケーブルの調整が適正になります。
► エンジンを切ります。

16.5 金属製カッティングアタッチメントの目立てとバランスの取り方

金属製カッティングアタッチメントを適切に目立てし、バランスを取るには、練習を重ねる必要があります。

STIHL 社では、金属製カッティングアタッチメントの目立てとバランス取りを STIHL サービス店に依頼されることをお勧めしています。
► 金属製カッティングアタッチメントは、同梱されている取扱説明書とパッケージに記載されている指示に従って目立てしてください。

17 修理

17.1 刈払機とカッティングアタッチメントの修理

ユーザーが刈払機とカッティングアタッチメントを修理することはできません。
► 刈払機またはカッティングアタッチメントが損傷した場合 : 刈払機またはカッティングアタッチメントを使用しないでください。STIHL サービス店に連絡してください。

18 トラブルシューティング

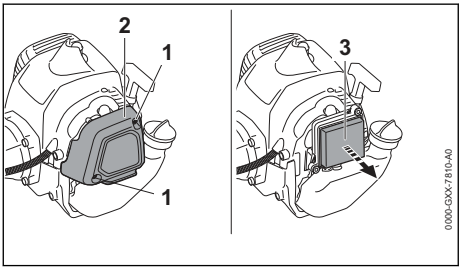
18.1 刈払機のトラブルシューティング

大半の不具合は、同じ原因で引き起こされます。
- ▸ 以下の作業を行います：
  - ▸ エアフィルターを交換します。
  - ▸ スパークプラグを掃除するか、交換します。
  - ▸ 標準設定を行います。
  - ▸ アイドリング回転数を調整します。
  - ▸ キャブレターを高地作業用に調整します。
- ▸ 引き続き不具合が解消されない場合：下表に記載されている作業を行ってください。

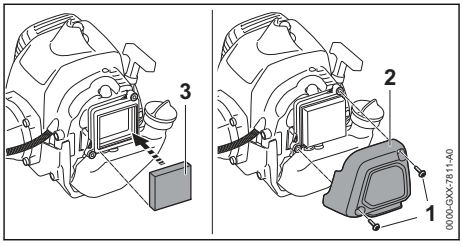
状態	原因	処置
エンジンが始動しない。	燃料タンク内の燃料が不足している。	▸ 混合燃料を用意し、刈払機に給油します。
	エンジンが燃料を吸い込みすぎている。	▸ 燃焼室を換気します。
	キャブレターが過熱している。	▸ 刈払機が冷めるまで待ちます。 ▸ エンジンを始動する前に：手動燃料ポンプを最低 10 回押します。
	キャブレターが凍結している。	▸ 刈払機を+10℃まで暖機します。
エンジンのアイドリングが不安定。	キャブレターが凍結している。	▸ 刈払機を+10℃まで暖機します。
アイドリング中にエンジンがストールする	キャブレターが凍結している。	▸ 刈払機を+10℃まで暖機します。
カッティングアタッチメントが適切に回転しないか、回転が不規則。	フレキシブルシャフトとパワーヘッド間の接続部またはドライブチューブが摩耗している。	▸ STIHL サービス店にサポートを依頼してください。

18.2 エアフィルターの交換

エアフィルターは清掃できません。エンジン出力が低下するか、エアフィルターが損傷した場合は、エアフィルターを交換してください。
- ▸ エンジンを切ります。
- ▸ チョークレバーを の位置に動かします。



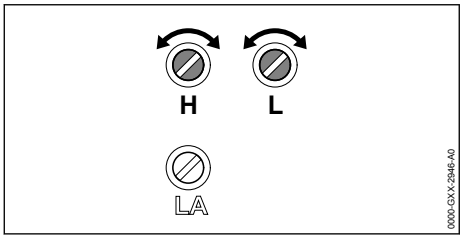
- ▸ スクリュー (1) を取り外し、フィルターカバー (2) を取り外します。
- ▸ エアフィルター (3) 周辺部を湿らせた布または柔らかいブラシで掃除します。
- ▸ エアフィルター(3) を取り外します。



- ▸ 新品のエアフィルター (3) を取り付けます。
- ▸ フィルターカバー (2) を取り付けます。
- ▸ スクリュー (1) を差し込み、しっかりと締め付けます。

18.3 標準設定

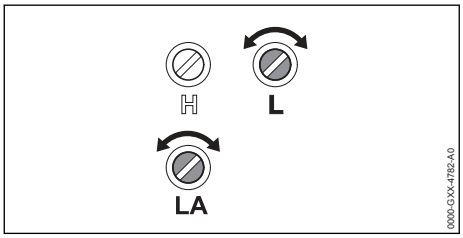
- ▸ エンジンを切ります。



- ► 高速調整スクリュー (H) を反時計回りに止まるまでまわします。
- ► 低速調整スクリュー (L) を時計回りに止まるまでまわします。
- ► 低速調整スクリュー (L) を反時計回りに 3/4 回転まわします。

18.4 アイドリング回転数の調整

- ► 標準設定を行います。
- ► エンジンを始動します。
- ► スロットルを約 1 分間開閉させ、エンジンを暖機します。



アイドリング中にエンジンがストールする

- ► カッティングアタッチメントが回転し始めるまでアイドリングスピード調整スクリュー (LA) を時計回りにまわします。
- ► アイドリングスピード調整スクリュー (LA) を反時計回りに 1 回転まわします。

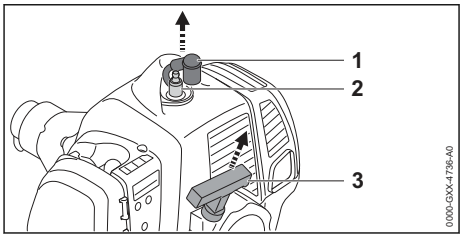
アイドリング回転数が不安定または加速が悪い

- ► エンジンの回転と加速が円滑に行われるようになるまで低速調整スクリュー (L) を時計回りまたは反時計回りにまわします。

アイドリング中にカッティングアタッチメントが回転する

- ► カッティングアタッチメントが回転しなくなるまでアイドリングスピード調整スクリュー (LA) を反時計回りにまわします。
- ► アイドリングスピード調整スクリュー (LA) を反時計回りに 1 回転まわします。

18.5 燃料室の換気



- ► スパークプラグターミナル (1) を引き抜きます。
- ► スパークプラグ (2) を回して外します。
- ► スパークプラグ (2) を乾かします。

警告

- ■ スパークプラグターミナルを取り外した後にスターターグリップを引くと、エンジン外部で火花が発生することがあります。引火または爆発が起きやすい環境下では、火花によって火災や爆発が生じるおそれがあります。それにより重傷または致命傷や物的損害につながるおそれがあります。
  - ► スライドコントロールを**STOP-0**の位置に動かしてからスターターグリップを引きます。

- ► スライドコントロールを**STOP-0**の位置に動かします。
- ► スターターグリップ (3) を数回引き、手を添えてゆっくりと戻します。
  燃焼室が換気されます。
- ► スパークプラグ (2) をねじ込んで、しっかりと締め付けます。
- ► スパークプラグターミナル (1) をしっかりと押し付けます。

19 技術仕様

19.1 刈払機 STIHL FR 235

- – 排気量：36.3 cm³
- – 出力：1.5 kW (2.0 PS)、9000 rpm 時
- – アイドリング回転数：2800 rpm
- – 出力シャフトの最高回転数：7900 rpm
- – 許容スパークプラグ：Bosch WSR 6 F (STIHL 社から入手可)
- – スパークプラグの電極ギャップ：0.5 mm
- – 重量 (オイルタンクが空の状態、カッティングツールなし、デフレクターなし): 10.3 kg
- – カッティングツールなしの長さ：2750 mm
- – 燃料タンク最大容量：810 cm³ (0.81 l)

19.2 騒音値および振動値

音圧レベルの特性値は 2 dB(A)です。音響パワーレベルの特性値は 2 dB(A)です。振動値の特性値は 2 m/s²です。

草刈ヘッド使用時

– ISO 22868 に準拠して測定した音圧レベル L_{peq}：99 dB(A)。
– ISO 22868 に準拠して測定した音響パワーレベル L_{weq}：108 dB(A)。
– ISO 22867 に準拠して測定した振動値 $a_{hv, eq}$：
  – コントロールハンドル：4.9 m/s²。
  – 左ハンドル：4.9 m/s²。

金属製カッティングツール使用時

– ISO 22868 に準拠して測定した音圧レベル L_{peq}：99 dB(A)。
– ISO 22868 に準拠して測定した音響パワーレベル L_{weq}：108 dB(A)。
– ISO 22867 に準拠して測定した振動値 $a_{hv, eq}$：
  – コントロールハンドル：2.1 m/s²。
  – 左ハンドル：2.2 m/s²。

振動に関する指令 2002/44/EC の遵守に関する情報は、www.stihl.com/vib に記載されています。

19.3 REACH

REACH は EC の規定で、化学物質 (Chemical substances) の登録 (Registration)、評価 (Evaluation)、認可 (Authorisation)規制を意味します。

REACH 規定の遵守に関する詳細については、www.stihl.com/reach をご覧ください。

19.4 排気ガス

欧州連合の型式承認手続きで測定された CO_2 値は、製品別技術データで www.stihl.com/co2 に明記されています。

CO_2 測定値は、代表的なエンジンを実験室で標準的な試験手順に従って測定した結果であり、特定のエンジンの性能を明示的、暗示的に保証する数値ではありません。

適用される排気ガス規制の要件は、本書に記載されている方法で機械を使用し、整備することによって満たされます。型式認定は、エンジンを改造すると無効になります。

20 カッティングアタッチメントとデフレクターの組み合わせ

20.1 カッティングツールとデフレクターの組み合わせ

カッティングツール	デフレクター	バリアバー
– 草刈ヘッド AutoCut C 26-2 – 草刈ヘッド AutoCut 27-2 – 草刈ヘッド AutoCut 36-2 – 草刈ヘッド DuroCut 20-2 – 草刈ヘッド PolyCut 18-2 – 草刈ヘッド PolyCut 28-2 – 草刈ヘッド SuperCut 20-2	– スカートとライン制限ブレード付きユニバーサルデフレクター	– オプション
– 草刈ブレード 230-2 – 草刈ブレード 230-4 – 草刈ブレード 230-8 – 草刈ブレード 260-2	– スカートなしユニバーサルデフレクター	– 必須
– ブラッシュナイフ 250-3	– スカートなしユニバーサルデフレクター	– 必須

21 スペアパーツおよびアクセサリー

21.1 スペアパーツおよびアクセサリー

これらの記号は、STIHL 純正のスペアパーツと STIHL 純正のアクセサリーに付けられています。

STIHL 社では、STIHL 純正の交換部品とアクセサリーの使用をお勧めしています。

STIHL 社は市場に出回っている商品を継続的に調査しておりますが、他社製スペアパーツとアクセサリーの信頼性、安全性、適性を判断することはできません。そのため、STIHL 社はそうした部品の使用を許可しておりません。

STIHL 純正の交換部品と STIHL 純正のアクセサリーは、STIHL サービス店から入手することができます。

22 廃棄

22.1 刈払機の廃棄

廃棄に関する情報については、最寄りの行政機関または STIHL サービス店へお問い合わせください。

不適切な廃棄は、健康被害や環境汚染の原因になるおそれがあります。

- ► 現地の規制に従い、パッケージを含む STIHL 製品を適切な回収場所へ持ち込み、リサイクルしてください。
- ► 家庭ごみと共に廃棄しないでください。

23 EC 適合証明書

23.1 刈払機 STIHL FR 235

ANDREAS STIHL AG & Co. KG
Badstraße 115
D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

は、単独の責任において
– モデル：刈払機
– 製造ブランド：STIHL
– タイプ：FR 235
– シリアル番号：4151

指令 2011/65/EU、2006/42/EC、2014/30/EU、2000/14/EC の関連する条項に適合しており、以下の規格のそれぞれ製造時点で有効であった版に準拠して開発および製造されたことを保証いたします：EN ISO 11806-2、EN 55012、EN 61000-6-1。

音響パワーレベルの測定値および保証値は、指令 2000/14/EC の付属書 V に準拠して測定されたものです。
– 音響パワーレベル測定値：111 dB(A)
– 音響パワーレベル保証値：113 dB(A)

技術資料は ANDREAS STIHL AG & Co. KG の製品認証部に保管されています。

製造年、製造国と機械番号は、刈払機に表示されています。

2022 年 8 月 1 日、Waiblingen にて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人 

Robert Olma, Vice President, Regulatory Affairs & Global Governmental Relations

24 アドレス

www.stihl.com



www.stihl.com



0458-527-4321-B